

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/08/08号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

## 驚きの雇用統計、円建てゴールドは急騰

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



先週前半は米GDPの二四半期連続のマイナス成長の影響でドル売り、ゴールド買いとなりました。これまでのドルの一人勝ちからの逆流となりました。ゴールドも一挙にショートカバーが入りました。Comexの投資家ポジションは前週の32.58トンのネットショートから86.77トンのネットロングへ。一週間で約120トンのゴールドがComexで買われたこととなります。100ドル上がるわけです。投資家のショートは強気要因と書きましたが、FOMCでの0.75%の利上げ、そしてそれに続くGDPマイナス成長が火に油を注ぎました。そして週末金曜日、次は雇用統計。これが悪い数字であればリセッションが確実なこととして、さらなる安全資産買いにつながるだろうと思いましたが、Non Farm Payrollの市場予想25万人増に対して、発表された数字は52.8万人増と予想の倍以上の数字となり、一挙にマーケットの雰囲気は変わりました。次のFOMCでは0.5%の利上げと見られていたのが、一挙に0.75%という見方が強くなり、ふたたびドル買いが強くなり、ゴールドは1790ドルから1760ドル台まで急落となりました。まさに冷や水を浴びせられた形です。マイナス成長下でのこの雇用の伸びはマーケットにとってはビッグサプライズでした。しかし急落後のゴールドはじわじわと戻し、一週間の引けは1775ドルとなりました。ドル円は2円急騰して135円で引けたので、円建てのゴールドは逆に大きく上げ、7700円で終わり、ドルの戻しの割にはゴールドが堅調であることがわかります。この雇用統計によりFRBのアグレッシブな利上げを妨げるものはなくなったと言えるでしょう。それに関わらずゴールドがそれほど下げないことは注目です。今週はCPIが発表されますが、FRBの最大の関心事であるインフレがどうなっているか、これまた注目の数字です。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

## 【マーケット・トピック】

### ゴールド以外の貴金属-PGM6

#### 2. プラチナの需要

##### a. 自動車触媒（続き）

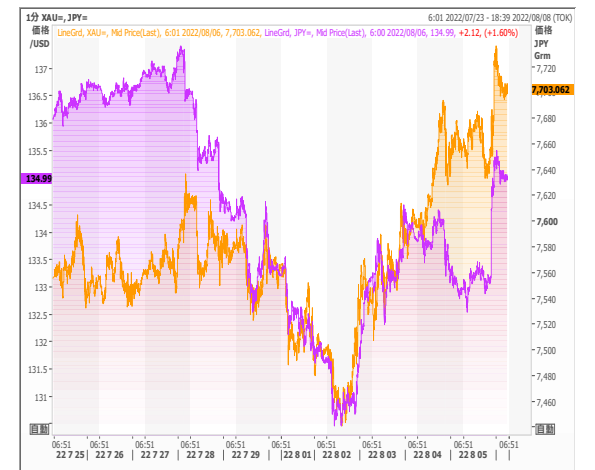
プラチナは主にディーゼルエンジンに触媒として使われており、パラジウムは主にガソリンエンジンに使われています。触媒としての性能はプラチナの方が圧倒的に優れているのですが、ガソリンエンジンには、パラジウムの能力で十分であったので、当時はプラチナよりもはるかに安かったパラジウムが使われたのでした。ところがディーゼルエンジンには触媒としてパラジウムでは十分ではなく、当時はパラジウムよりもはるかに高価であったプラチナを使わざるを得なかったというのがその背景にありました。しかし皮肉なことに、パラジウムが安かったためにガソリンの触媒に使われましたが、世の中では売れる車の大部分がガソリン車であり、その上に年々排ガス規制が世界中で厳しくなっていくにつれてガソリン車の触媒であるパラジウムの使用量は青天井に増加していき、そのためにパラジウムの価格も大きく上昇。プラチナ、ゴールドを追い越して、市場で取引される貴金属としては圧倒的に高いものになってしまいました。当然性能がより高く、今やパラジウムの半額であるプラチナをパラジウムの代替とすればよいのですが、価格逆転当初は、またいつ再逆転するかもわからず、そしてそもそもパラジウムを使う前提での触媒加工設備をプラチナベースの新たなものにするには相当のコストもかかるため、なかなかその動きにはなりません。しかし、価格逆転してからほぼ5年がたち、その価格差はなかなか狭まらない現実、そしてロシアがパラジウム生産の4割を占めるということからの供給不安から、現在、世界では急速にパラジウムからプラチナへの乗り換えがすすみつつあるようです。これはプラチナの価格を上げ、パラジウムの価格を下げるという影響があります。どれだけ代替が進むのかはまだまだ予測が難しいですが、少なくともプラチナには強材料でしょう。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

